

もっとアフリカを知り、経済、技術、文化の交流を促進します



## 月刊アフリカニュース

2014年 10月 15日 No. 22

目次	ページ
特別ニュース：エボラ流行の経済的損失について (世銀報告書から) . . . . .	1
アンゴラ月報 . . . . .	3
タンザニア・ビジネスニュース . . . . .	5
南アフリカ月報 . . . . .	6
ルワンダ月報 . . . . .	6

## 特別ニュース：エボラ流行の経済的損失について（世銀報告書から）

## 1 エボラの経済的損失 9月17日

世銀の分析では、GDP に与える損失額の短期的影響は、ギニアでは対 GDP 比 2.1 パーセント・ポイント（成長率は 4.5% から 2.4% に低下）、リベリアでは 3.4 パーセント・ポイント（成長率は 5.9% から 2.5% に低下）、シエラレオネでは 3.3 パーセント・ポイント（成長率は 11.3% から 8% に低下）となっている。こうした GDP に対する損失額は、2014 年の価格基準に換算すると総額 3 億 5,900 万ドルに相当する。一方、エボラ出血熱の封じ込めが遅れた場合の対 GDP 損失額は、3 カ国合計で推計 8 億 900 万ドルに上る。最も大きな打撃を受けたリベリアでは、「感染率高位推計」のシナリオでは 2015 年、対 GDP 比 11.7 パーセント・ポイント（6.8% のプラス成長から 4.9% のマイナス成長へと転落）に及ぶ。

財政に与える短期的影響も大きく、リベリアでは 9,300 万ドル（対 GDP 比 4.7%）、シエラレオネでは 7,900 万ドル（対 GDP 比 1.8%）、ギニアでは 1 億 2,000 万ドル（対 GDP 比 1.8%）となっている。また、封じ込めが遅れた場合は、2015 年の財政落ち込み幅もさらに拡大する、と分析は述べている。

インフレと食糧価格は当初は抑えられていたが、食糧不足、パニック買い、思惑買いな

どにより現在上昇中である。また、食糧価格の高騰に対して既に脆弱になっていた家庭では、さらに打撃となっている。為替レートの変動は、先行き不透明感と一部の資本逃避が手伝って、特に6月以降、3カ国いずれも激しさを増している。

報告書は、最後に経済的損失は、エボラの流行に対する「恐れ」からも生じているとし、人々は外出を控え、需要が減少しており、それが更に所得減少と雇用レベルの低減につながっている、と指摘している。

”The economic impact of the 2014 Ebola epidemic : short and medium term estimates for Guinea, Liberia, and Sierra Leone”

<http://documents.worldbank.org/curated/en/2014/09/20214465/economic-impact-2014-ebola-epidemic-short-medium-term-estimates-guinea-liberia-sierra-leone>

## 2 西アフリカのエボラの経済的影響 10月7日

エボラ出血熱：西アフリカでの集団感染が長期化・拡大すれば数十億ドルの経済的損失をもたらすと世銀新報告書は述べている。

エボラ出血熱の最も深刻な影響を受けているギニア、リベリア、シエラレオネの3カ国では、現時点で死者が3,439人に達した。さらにより経済規模の大きな近隣諸国にも感染が広がれば、アフリカ地域の経済に与える損失は、2年間の累積額で2015年末までに326億ドルに達するだろうと指摘する。

報告書は、「エボラ出血熱を年内に封じ込められる見通しは厳しく、さらに今後の感染の拡大についても懸念要因が多いことから、2015年末までの中期的影響については2つのシナリオを仮定して推計している。」「感染率低位推計」シナリオは、最も深刻な影響を受けた3カ国で封じ込めが迅速に行われた場合、「感染率高位推計」シナリオは、これら3カ国で封じ込めが遅れ、域内に広く感染が広がった場合の推定値である。

新たな分析では、エボラ出血熱の経済的影響は感染の中心である3カ国（中でもリベリアとシエラレオネ）において非常に深刻であり、封じ込めが遅れた場合の「感染率高位推計」のシナリオでは壊滅的な影響となる恐れがある。ただ、地域全体への経済的影響は、各国や国際社会が直ちに行動を起こして感染症を封じ込めると共に、近隣諸国による国境封鎖、航空会社や域内・国際企業によるこれら3カ国での商業活動停止など感染を恐れる人々の「恐怖心による行動」を緩和できれば、限定的なものに留められるだろう。ナイジェリアとセネガルで今のところエボラの封じ込めが成功していることは、既存の保健医療システムが機能し、しっかりとした政策対応をもってすれば、封じ込めが可能であることの証である。

“The economic impact of the 2014 Ebola epidemic : short and medium term estimates for West Africa”、

アンゴラ月報 (2014年9月)

【内政】

- グラシアーノ・フランシスコ・ドミンゴス氏、ルアンダ州知事就任
- 閣議関連
- ルアンダ州政府の再編成 委員会創設
- MPLA 中央委員会政治局、国家開発計画を評価
- ビエ州、UNICEF との覚書に署名
- 25年ぶりの民族文化祭 (FENACULT) が閉会

【外政】

- ヴィセンテ副大統領、首席代表として第69回国連総会出席
- トマス運輸大臣、TAAG とエミレーツ航空の戦略的パートナーシップ提携文書に署名
- 第6回 ACP 賢人会議
- ヴィセンテ副大統領、首席代表として国連総会出席
- TAAG(アンゴラ航空)、エミレーツ航空と戦略的パートナーシップを締結
- 対ナミビア関係
- キューバ外務副大臣の来訪
- 韓国、アンゴラの安保理非常任理事国選挙立候補支持を表明
- モザンビークと査証免除及び簡素化に関する合意文書に署名
- アンゴラ、米との軍事協力強化
- チリとの二国間協力行動計画に合意
- MISCA 司令官及び元国連アンゴラ監視団事務総長特別代表の来訪
- ズマ AU 委員会委員長の訪問
- 強制失踪防止条約調印

【経済】

- ソブリンファンドへの資金移転完了
- IMF 対アンゴラ 4条協議スタツフレポートの公表
- 燃料費の引上げ
- 主要経済指標
  - (1) 物価:8月期のインフレ率は7.05% (対前月比0.07%p) で、月間物価上昇率は0.6%。
  - (2) 金利:政策金利の BNA 基礎利率 (Taxa BNA) を年率8.75%に据え置くことを決定。銀行間取引利率 LUIBOR のオーバーナイトは3.63% (対前月比0.32%p) に引き上げ。
  - (3) 為替市場:9月末、為替相場は USD1=98.2AKZ で推移 (対前月比0.468クワンザ安)。
- ソブリンファンドへの資金移転完了
- IMF 関連

(1) 対アンゴラ 4 条協議に関する報告書

(2) 篠原副専務理事の来訪

●日本の経済協力

UNICEF の干ばつ対策プロジェクトを通じ、ウイラ州ガンボス地区にソーラーパネルを備えた給水所が設置され、約 6 万人の住民が飲料水にアクセスできるようになった。日本の支援額は約 120 万ドル。

●石油・鉱物資源関連情報

(1) 産油量 160 万バレル/日まで回復

(2) 国際石油価格、想定油価を下回る

11 日以降、国際石油価格は 96~98 ドル/バレルで取引されており、国家予算想定油価の 98 ドル/バレルを下回っている。

(3) 対米原油輸出でアフリカ内トップ

(4) 伊 ENI、石油鉱区を発見

(5) 燃料価格の引上げ

(6) ダイヤモンド生産高

財務省によれば、2013 年のダイヤモンド関連税は約 7,300 万ドル

●金融・銀行

(1) 石油企業に対して中銀へのドル売りを義務化へ

(2) 中銀、預金保証制度を準備

●貿易・投資

(1) 競争力ランキング

世界経済フォーラム (WEF) が発表した 2014 年度版の「国際競争力ランキング」によると、アンゴラは 144 ヶ国中 140 位で昨年の 142 位から 2 ランク上昇。

(2) 民間投資案件

契約総額は約 3,750 万ドル (約 37 億クワンザ)。分野は製造業、建設業、商業、ホテル・飲食業等にわたり、アンゴラ、中国、スペイン、ポルトガル、シンガポール等の企業により、ルアンダ州及びクアンド・クバンゴ州等で展開される。

(3) アンゴラ、対外投資でリード

(4) 対中国貿易額、0.91%の微増

(5) 輸入・輸出・再輸入の事前支払い決裁の上限額引上げ

(6) ブラジル Oi、Unitel 株を売却

●輸送・通信インフラ

(1) モサメデス鉄道

リハビリの 10 月完工予定、新車両の導入

(2) ナイロビ便就航へ向け署名

(3) ルアンダ=フランクフルト間の増便

(4) アンゴラ初の人工衛星 Angosat、2017 年までに打ち上げ

このプロジェクトは、ロシアの RSC グループ等から成る企業コンソーシアムにより 370 億クワンザ (約 3 億 7,800 万ドル) の融資を通じて実施される

●製造業

- (1) ブラジルとの合弁会社 Biocom、10 月に操業開始
- (2) ブラジルのオデブレヒト社 CEO の来訪
- (3) 肥料工場の建設

[http://www.angola.emb-japan.go.jp/document/report/201409angola\\_report.pdf](http://www.angola.emb-japan.go.jp/document/report/201409angola_report.pdf)

### タンザニア・ビジネスニュース（2014年9月）

#### [上半期]

- (1) 2014 年第 1 四半期 GDP 成長率、昨年同期を上回る 7.4%
- (2) ビジネス営業登録所用時間が 7 営業日から 8 時間へ大幅短縮
- (3) キガリ、ブジュンブラ、ゴマへの陸上輸送はダルエス港経由、ジュバ、カンパラへはモンバサ港経由が割安
- (4) 世銀他、タンザニア政府との間でダルエスサラーム港の改修等にかかる MOU に署名
- (5) ムトワラ港拡張計画
- (6) ドドマ州に EU が支援する皮革工場建設開始
- (7) トウモロコシ生産余剰 15 万トンの周辺国輸出を模索
- (8) モハメド・エンタープライズ、繊維分野への投資拡大、サブサハラ最大の繊維業者としての地位を強化
- (9) ABE イニシアティブ第一陣、タンザニア人 30 名が日本へ留学

<http://www.tz.emb-japan.go.jp/tanzania/news/2014091h.htm>

#### [下半期]

- (1) 2013 年、タンザニアが東アフリカ最大の外国投資受け入れ先
- (2) タンザニア輸出が好調、観光、タバコ、工業製品、クローブの輸出増加
- (3) パナソニックがタンザニアで配線器具などの電設資材製品を販売開始
- (4) タンザニア石油公社、採掘中のムナジ湾オンショア天然ガス買取契約を締結
- (5) リンディにて黒鉛、マンガンの埋蔵を確認
- (6) 来年より総工費 30 億ドルの鉄鉱石・石炭採掘及び発電事業を開始
- (7) タンザニア・ケニア・ウガンダがヴィクトリア湖での年間 6 ヶ月のナイルパーチ禁漁を検討
- (8) エティハド航空、フライドバイ航空がタンザニアに就航

<http://www.tz.emb-japan.go.jp/tanzania/news/2014092h.htm>

### 南アフリカ月報（2014年9月）

**【内政】**

- ツラクラ独立選挙委員会（IEC）委員長の辞職
- 国家検察庁から DA に対する “スパイテープ” の手交
- マパツォ国防・退役軍人副大臣によるマドンセラ護民官批判
- ヌカンドラ問題に関する特別委員会の設置
- 野党によるムベテ国民議会議長不信任決議案の提出
- 南ア改正入管法・子どもを伴う旅行に関する一部書類提出義務の施行延期

**【外交】**

- レソト情勢に対する南アの取り組み
- ダライ・ラマに対する南アの査証発給拒否
- ナイジェリアでのシナゴーク崩壊、約 80 名の南ア人死亡
- ズマ大統領の国連総会演説

**【経済】**

- 経済指標：インフレ、貿易収支、製造業・鉱業、自動車販売  
南アの 7 月の貿易赤字の拡大
- 南ア・ロシア政府間の原子力に関する協定締結
- 金融政策委員会結果及びマーカス準備銀行総裁の退任

[http://www.za.emb-japan.go.jp/jp/downloads/SANews/September\\_2014.pdf](http://www.za.emb-japan.go.jp/jp/downloads/SANews/September_2014.pdf)

**ルワンダ国月報（2014 年 9 月）**

**【内政】**

●12 日、ンタウクリヤヨ上院議長が辞任を表明し、臨時国会によって承認された。同氏は、議長は辞任するも上院議員の職には留まる旨述べた。

**【外政】**

●ルワンダ及びチュニジアはポスト・ミレニアム開発目標（MDGs）の主題別分野において、国連の開発アジェンダの下で顕著な成果を上げていることが評価されパイロット国に指名された。

**【経済】**

●18 日、ブリュッセルにて EU によるルワンダの開発計画の実施を支援するための 4.6 億ユーロの支援プログラムが締結された。

※以下はルワンダの英字日刊紙「The New Times」の記事を取り纏めたもの

**【内政】**

8 月 31 日、ルワンダ愛国戦線（RPF）会合  
9 月 1 日、カブエ大尉裁判

9月9日、ンジラサナホ・ジェノサイド被疑者裁判

9月10日、ルサガラ元准将の軍事裁判

9月12日、2013/2014年度のイミヒゴ評価

9月26日、Transparency International Rwanda 職員の殺害：警察官の逮捕

#### 【外政】

8月31日、初開催となる空手道日本大使杯がキガリ高校で開催され、男子型、男子組手、女子型、女子組手の計4つのトーナメント戦が行われ、16チーム（女子4チーム、男子12チーム）が参加した。同大使杯に出席したハビネザ・スポーツ・文化大臣は、日本国大使館及びルワンダ空手連盟からの支援に感謝の意を述べるとともに、ルワンダ空手連盟に対して、同省からの今後のサポートを約束した。同大使杯は、来年以降も毎年継続して開催される予定である。

9月4日、ジニット大湖地域国連事務総長特使、カガメ大統領を表敬し、ルワンダ解放民主勢力（FDLR）による脅威の排除を含む様々な問題につき協議

9月12日、北部回廊を結ぶ石油パイプラインの建設

9月18日、南スーダンに派遣中のルワンダ PKO 部隊、南スーダンに学校建設

9月20日、ジョージア州アトランタでルワンダ・ディの開催

9月24日、ルワンダ及びドイツの航空輸送協定

ンザハブワニマナ交通担当国務大臣とファーレンホルツ駐ルワンダ独大使は商業航空輸送サービスに関する二国間協定に署名した。

9月24日、国連総会（カガメ大統領の出席）

9月26日、スウェーデンにおけるジェノサイド容疑者の逮捕

9月30日、ルワンダ国際刑事裁判所（ICTR）裁判

ICTR の上訴法廷は、1994年のツチ族に対するジェノサイドを首謀した罪に問われている3名に対する終身刑を支持した。

#### 【経済】

9月2日、150億ルワンダ・フランの国債取引開始

9月3日、ABE イニシアティブ壮行会

ABE イニシアティブと名付けられた新規研修プログラムの14名の参加者のための壮行会がキガリで開催された。（当館注：ABE イニシアティブ参加者は10名で、その他の4名は他の長期研修事業の参加者）。同イニシアティブは、JICA が実施し、研修員は、日本の大学院に留学し、その後日本の企業でインターンシップ経験を積む。

9月3日、25年間の鉱山発掘ライセンス契約

カナダの鉱山企業 Tinco 社は、ルワンダ政府と25年間の北部県ニャカビンゴ郡及びルトンゴ郡の鉱山発掘ライセンス契約を結んだ。

9月11日、ルワンダ国家統計局(NISR)は、2014年8月のインフレ率が、7月の1.9%から下落し0.9%であった旨発表した。この下落の要因は、食品価格、特に果物の価格が下がったことに起因する。

9月16日、S&P 社、ルワンダの格付け stable から positive に引き上げ

9月21日、EAC・EU 経済連携協定（EPA）の先送り

9月28日、地域電力協力プロジェクト

9月29日、ベルギーによる1、350万ユーロの地方分権化促進に向けた支援

[http://www.rw.emb-japan.go.jp/rwanda\\_news\\_2014.9.pdf](http://www.rw.emb-japan.go.jp/rwanda_news_2014.9.pdf)